



作文・小論文 コンクール を 実施

このコーナーでは、毎回、金融広報中央委員会の最新の取り組みや活動内容を紹介してまいります。今回は、中学生・高校生・教員等を対象とする作文・小論文コンクールについてご紹介いたします。



金融広報中央委員会では、中学生や高校生に金融・経済への関心を高めてもらい、また教員等の間で金融教育の在り方に関する議論を深めていくことを目的として、毎年、作文・小論文コンクールを実施しています。今年度の応募状況を見ると、中学生・高校生は昨年度を幾分下回りましたが、教員部門は昨年度を上回る応募がありました。教育関係・金融関係の専門家の方々による厳正な審査をいただき、入賞作品を決定しました。

「おかねの作文」
コンクール(中学生)

今年度で41回を迎える「おかねの作文」コンクールでは、「私の活きたおかねの使い方」「携帯電話やインターネットとの付き合い方」「悪質商法の被害にあわないためのわが家の対策」など6つのテーマに沿って、全国および海外在住の中学生から作品が寄せられ、応募総数は4146編となりました。

個人や家族の体験を元に、感じたことや考えたことをまとめた作品が多く見受けられました。特選等の入賞作品を見ると、お金で買えない価値への想いや、悪徳商法に遭遇しそうになった経験から家族で相談した対応策、携帯電話や

インターネットをいかに使いこなすか、勉強する環境に恵まれなかった祖母の人生を知り夢をかなえるために必要なお金への気付きを綴ったものなど、力作が集まりました。

「金融と経済の明日」
小論文コンクール(高校生)

「金融と経済の明日」第6回高校生小論文コンクールでは、「働くことの意味・意義」「夢の実現に向けてあなたのライフランを立ててみよう」「携帯電話やインターネットの上手な活用法」「超高齢社会で生きるといふこと」など5つのテ

第41回「おかねの作文」コンクールの特選・秀作の作品・入賞者（敬称略）

- ★特選 「価値のあるお金の使い方」 [金融担当大臣賞]
愛知県・名古屋市立守山西中学校 **山田 つかさ**
- 「悪徳商法の被害にあわないための我が家の対策」 [文部科学大臣賞]
群馬県・千代田町立千代田中学校 **植木 千恵**
- 「祖母の通知表」 [日本銀行総裁賞]
愛知県・岡崎市立甲山中学校 **鈴木 崇造**
- 「携帯電話とインターネット」 [日本PTA全国協議会会長賞]
兵庫県・灘中学校 **平井 宏和**
- 「見えない軌跡は」 [金融広報中央委員会会長賞]
兵庫県・灘中学校 **馬場 悠輔**
- 秀作 「お金の重み」 滋賀県・近江兄弟社中学校 **一円 泰平**
「インターネットについて学ぶ」 大分県・大分市立明野中学校 **森山 心月**
「携帯電話は必要か？」 京都府・京都市立岡崎中学校 **木村 美咲**
「僕にも出来る人助け」 京都府・京都市立嵯峨中学校 **児嶋 寛治**
「資産家の英断」 熊本県・熊本市立出水中学校 **野田 京**

「金融と経済の明日」第6回高校生小論文コンクールの特選・秀作の作品・入賞者（敬称略）

- ★特選 「現代における情報媒体の利用について」 [金融担当大臣賞]
静岡県・静岡市立商業高等学校 **大森 美桜**
- 「働く姿を見て」 [文部科学大臣賞]
岡山県・岡山県立玉島高等学校 **赤野 早葉江**
- 「夢に向かって進む」 [日本銀行総裁賞]
千葉県・暁星国際高等学校 **大松 賢準**
- 「高齢者の医療費」 [全国公民科・社会科教育研究会会長賞]
青森県・青森県立八戸高等学校 **田名部 真梨子**
- 「自立と自由」 [金融広報中央委員会会長賞]
千葉県・東京学館高等学校 **鈴木 悠介**
- 秀作 「格差社会と私たちの未来」 京都府・同志社女子高等学校 **高橋 佳奈子**
「働くことで歯車になる」 広島県・広島市立基町高等学校 **山手 瞳**
「格差を食い止めるために」 京都府・同志社国際高等学校 **畑中 佑介**
「環境保全と経済学」 兵庫県・雲雀丘学園高等学校 **畑中 晶**
「円相場で経済を知る」 岡山県・岡山県立岡山南高等学校 **竹井 龍**

「金融教育を考える」第5回小論文コンクールの優秀賞・奨励賞の作品・入賞者（敬称略）

- ★優秀賞 米作りの会社「なめがたガキンチョ米会社」経営の試み
茨城県・神栖市立横瀬小学校 **山本 良信**、行方市立行方小学校 **宮崎 幹子**
- 高校における「求められる金融教育の体系的学習内容」とは何か
—商業高校における金融教育プログラムと授業実践を通して—
長野県・長野県立小諸商業高等学校 **小林 和夫**
- 高校で本当に必要な学びとは何か
—スキルとネットワークの形成をキーワードに授業を変える—
大阪府・大阪府立福泉高等学校 **井沼 淳一郎**
- 奨励賞 教員養成段階（大学）への金融教育普及活動の必要性和有効性
東京都・慶應義塾大学経済学部 **六郷 和紀**
- 「株式会社アツシヨップ」に夢を乗せて
～高校生による本格的株式会社創設宣言～
神奈川県・神奈川県立厚木商業高等学校 **岩村 夏樹**
- 金融教育の実践例 「マーケティング」での実践例
愛知県・愛知県立知立高等学校 **清水 隆則**
- 「働いて・使って・貯める」経済学習
～中学校社会公民的分野「家計」での取り組み～
滋賀県・甲賀市立甲南中学校 **井上 陽平**

マについて、全国の高校生・高等専門学校から、2082編の応募がありました。

「ニュースや資料・データを参照しながら、関心を持った社会問題を論じる作品が多数寄せられました。その中で、インターネットなどの新しい技術の功罪を考察した作品や、働くことについてその意義を考えたたり、親の働く姿から感じたことをまとめたもの、高齢者の医療費の在り方について考えた作品、起業についての具体的な夢とプランを紹介したものが入賞しました。

「金融教育を考える」小論文コンクール（教員・研究者）

学校教員や教育関係の研究者を対象とする「金融教育を考える」第5回小論文コンクールには、金融教育に関する授業や学校行事での実践報告を中心に、31編の応募をいただきました。

米作りの会社を経営することで勤労と金銭との関連を体験させた小学校での実践や、高等学校での商業教育における金融教育の体系化を試みた論文と高校生が社会に巣立つに当たり必要とす

る学びの授業が入賞しました。奨励賞には、中学校における「家計」の学習、高等学校でのマーケティングにおける実践や実際の株式会社設立構想、教職を志す大学生からの提言が選ばれました。

各コンクールの入賞作品は、知るばるとのホームページ（www.shinporuto.jp）でご覧になれます。

これらのコンクールは、平成21年度にも実施（6月ごろ募集開始）する予定です。多数のご応募をお待ちしています。